

「どうぶつの赤ちゃん」

本単元で育成する資質・能力

課題解決力

- 1 日時 令和3年1月20日(水) 第5校時
- 2 学年 第1学年 15名
- 3 単元について

【単元観】

本単元で扱う内容は、小学校学習指導要領には、以下のように位置づけられている。

第1学年【知識及び技能】

- (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。
- (3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - エ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。

【思考力、判断力、表現力等】

- C (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。
 - ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。
 - カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。

1年上巻で学習した「くちばし」、「うみのかくれんぼ」、下巻で学習した「じどう車くらべ」に続く説明的文章である。冒頭に二つの問いが示され、続けてそれに対する答えが説明されていくという構造は「じどう車くらべ」と共通しているが、本教材は説明部分が長くなっている。

本単元では、「くらべてよもう」を目標として設定している。ライオンとシマウマの二つの事例を比べて読むことで、比べている観点や文章の構造について気づかせていくことがねらいである。また、比べて読むための観点を明確にし、それぞれの観点ごとに本文から大事な言葉を見つけ、書き抜くこともねらいとしている。

【児童観】

学力に大きな課題のある児童への手立ての検証対象として、本学級ではA児を抽出している。

国語科の学習についてのアンケート(◎, ○, △, ×の4段階評価: 12月実施)によると、A児は、「国語の授業は楽しいです」や「分からないときでもあきらめず、教科書を見たり、何度も読んだりして、分かるまで考えようとしています」の項目は肯定的回答をしている。しかし、「本を読むことは好きです」には、△と答えており、読むことに対して苦手意識をもっていることが考えられる。

A児は授業に意欲的に取り組み、宿題も確実にやっている。特に音読の宿題は、毎日5回以上は読むことを自分で目標設定し、1学期より継続して真面目に取り組んでいる。

2学期に実施した物語文の単元末テストでは、平均93点であったが、説明文は平均80点であった。特に『じどう車くらべ』では、バスとトラックのつくりについて問われた問題で誤答が見られ、それぞれのつくりの“違い”について正しく理解できていなかったと考えられる。また、問題文が複雑化しているものは、自分で読んだだけではその意味が理解できず、誤答であった。テスト返却後、丁寧に説明すると理解でき、正しい答えを自分で見つけることもできた。

また、普段のA児の様子を観察していると、主に以下の3点に課題があると考えられる。

- ①言葉のまとまりを意識しながら、音読をすることが難しい。

読み込んでいない文章は、言葉のまとまりを意識しながら読むことが難しく、一字読みになっている。同じものを何度も練習した後は、スラスラ読めるようになる。

②書かれている内容の読解が難しい。

読みながら、書かれている内容を頭の中でイメージすることが難しく、正しく理解できていないことがある。

③書かれていることを見てノートに写すという作業が苦手である。

板書をノートに写したり、視写をしたりすると、文字が抜けていることが多くある。見ただけではそれに気づけず、写した文を読むように促すと気づくことができる。反対に、聞きながら書く作業はよくできる。

本単元でも、事前に読む練習を重ねておけば、言葉のまとまりを意識しながら音読することはできると予想される。しかし、比較する3つの観点（A体の大きさ、B目や耳の様子、C親の姿との比較）について、どこにどんな風に書かれているのかを見つけられないことが予想される。また、ライオンとしまうまの様子の違いについて、言葉だけではイメージができず、正しく理解できないことも予想される。

【指導観】

本校では、研究主題「仲間と協力して、課題解決に意欲的に取り組む児童の育成」に向け、全校及び低学年の重点取組を、次のとおり設定している。

全校	①「授業のユニバーサルデザイン化」を図り、学習に大きな課題のある児童を含む全員にとって、参加と理解がしやすい授業となるようにする。	②授業に生かす「家庭学習」の仕方について、各学年の発達段階や個の実態に応じた指導の充実を図り、児童自ら、自分に合った内容や方法を自分で選択しながら、次の授業につながる家庭学習ができるようにする。
低学年	①教材にしかけ（選択肢を作る・隠す・間違えるなど）を作り、全員が参加したくなり、理解につながる授業を行う。	②出たものに取り組む段階 宿題で出されたものを、もう一度するのも自主学習と位置づけ、調べ学習やクイズづくりをするなど、意欲付けながら取り組ませる。

A児の予想されるつまずきに対しては、これらの重点取組を踏まえ、次のように手立てを講じる。

(1) 書かれていることについて、具体的にイメージしやすいような工夫と配慮を行う。

①動作化や具体物、挿絵などを多く取り入れる。

・文を読むだけでは、言葉の意味理解が曖昧であるため、赤ちゃんの様子について具体的にイメージできない可能性がある。そのため、キーワードとなる言葉や文が出てきたときには、その様子を真似てみたり、挿絵と関連付けたりしながら考えさせる。また、そこからライオンとしまうまの赤ちゃんの様子の共通点や相違点にも気づかせるようにする。

②参加しやすい活動を多く取り入れる。

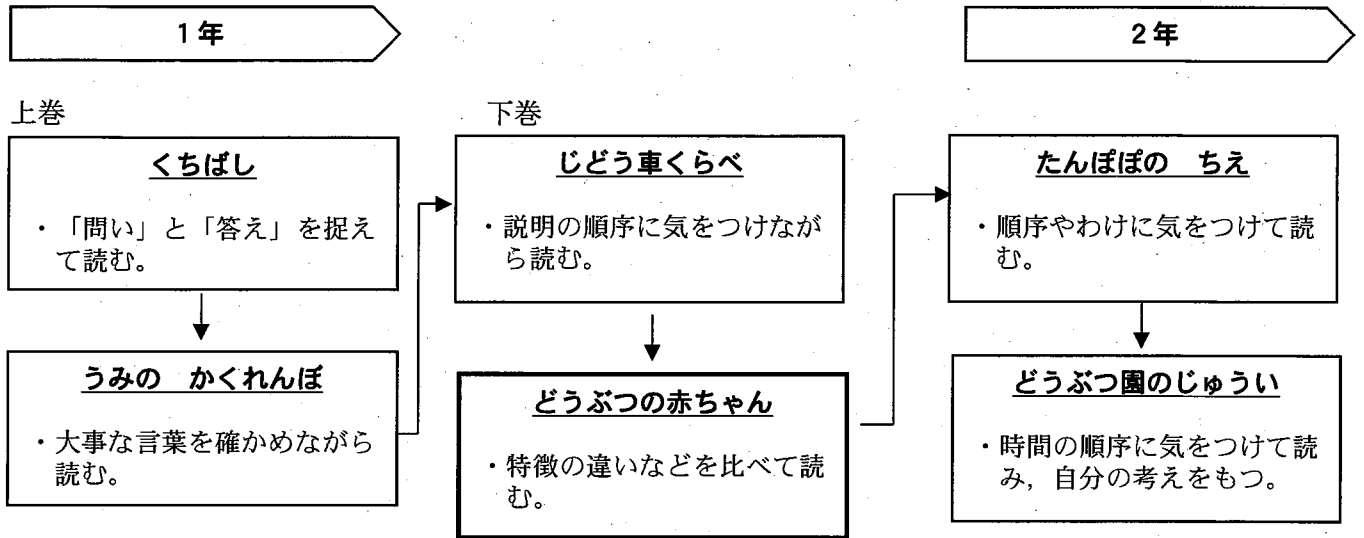
・事柄の順序や、6つの比較の視点について理解できるよう本文を分割したカードを作り、それらを並べ替えたり、組み合わせたりすることによって、ライオンもしまうまも書かれている内容は違うが、順序や比較の視点は同じであることに気づかせるようにする。

(2) 学習内容への見通しをもって参加できるように、授業につながる家庭学習を設定する。

①児童のつまずきが予想される時間の前には、クイズづくりを通して予習的な家庭学習を設定する。その際は、過度の負担にならないようにするとともに、キーワードとなる言葉に着目できるようにするため、クイズの問題は事前に作っておき、答えの部分の選択肢をいくつか考えて書かせるようにする。

②授業の中では、家庭学習を生かす場面を設定するとともに、次の家庭学習への意欲をもてるように丁寧に評価を行う。

4 単元の学習の系統性（説明的文章）



5 単元の目標

- 共通，相違，事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
- 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・共通，相違，事柄の順序など情報と情報の関係について理解している。 ・読書に親しみ，いろいろな本があることを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において，時間的な順序や事柄の順序などを考えながら，内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において，文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 ・「読むこと」において，文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもち，文章の内容を比べながら粘り強く読むことで，本から得たことを友達に知らせようとしている。

7 本単元において育成したい資質・能力 **課題解決力**

育成したい資質・能力	育成したい資質・能力が本単元の学習において発揮されている姿
課題解決力	比べている観点に当てはまる言葉や文を本文から見つけ出しなが課題解決をすることができる。

8 指導計画 (全 11 時間 本時第 3 時)

授業につながる 家庭学習	次	時	主な学習活動	知	思	態	評価規準
○どうぶつの赤ちゃん クイズをする。	第 一 次	1	【情報の収集】 ○どうぶつの赤ちゃんクイズを する。 ○教材名を読み、見たことがあ る動物の赤ちゃんについて話 し合う。			○	・初めて知ったこと、もっと 知りたいことなどを出し合 い、学習の見通しをもとう としている。
○音読をする。		2	【情報の収集】 ○「どうぶつの赤ちゃん」を読 んで初めて知ったことや不思 議だと思ったことを話し合 う。 ○「問い」の部分を見つける。				
○音読をする。 ○生まれたばかりのす がたクイズを作る。	第 二 次	3 (本 時)	【情報の収集】 【整理・分析】 ○ライオンとしまうまの赤ち ゃんの生まれたばかりの様子を 比べながら読む。			○	・ライオンとしまうまの赤ち ゃんの様子を、比べている 観点に当てはまる言葉や文 を書き抜きながら読んでい る。
○音読をする。 ○大きくなっていくよ うすクイズを作る。		4	【まとめ・創造・表現】 ○読み取ったことを出し合い、 思ったことを書く。			○	・文章を読んで感じたことや 分かったことを共有してい る。
		5	【情報の収集】 【整理・分析】 ○ライオンとしまうまの赤ち ゃんの大きくなっていく様子を 比べながら読む。			○	・ライオンとしまうまの赤ち ゃんの様子を、比べている 観点に当てはまる言葉や文 を書き抜きながら読んでい る。
		6	【まとめ・創造・表現】 ○読み取ったことを出し合い、 思ったことを書く。			○	・文章を読んで感じたことや 分かったことを共有してい る。

		7	【整理・分析】 ○二つの事例を比較しながら読み、時間的な順序や書いてある事柄の順序など、情報と情報との関係について考える。	○			・時間的な順序や事柄の順序など、情報と情報との関係について理解している。
○音読をする。 ○カンガルーの赤ちゃんクイズを作る。		8	【整理・分析】 【まとめ・創造・表現】 ○「カンガルーの赤ちゃん」を読み、ライオンとしまうまの赤ちゃんと比べながら読む。		○		・「カンガルーの赤ちゃん」を読み、比べている観点を意識して、必要な言葉や文を書き抜きながら読む。
○音読をする。 ○図鑑や本を読み、他の動物の赤ちゃんについて知る。	第三次	9	【情報の収集】 ○他の動物の赤ちゃんについて、図鑑や絵本などで調べ、観点ごとにまとめる。		○	○	・知りたいことについて、進んで調べようとしている。 ・図鑑や絵本などを読み、自分が知りたい動物について調べている。
○調べた動物の赤ちゃんクイズを作る。		10	【まとめ・創造・表現】 ○調べたことを友達と読み合う。		○		・関連する本を読んで分かったことを友達と共有している。

9 本時の展開

(1) 本時の目標

ライオンとシマウマの生まれたばかりの様子を比べながら読むことができる。

(2) 本時の評価規準

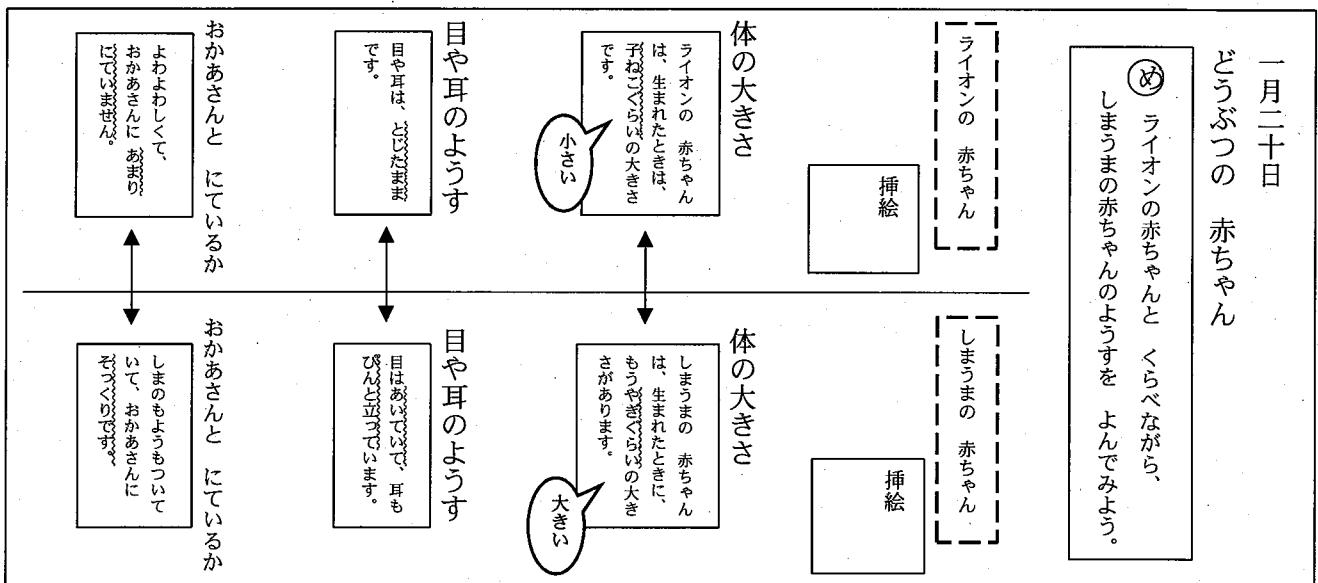
- ・ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子を対比させて考えたり、比べている観点を意識したりしながら、読むことができる。 【思考・判断・表現】
- ・比べている観点到てはまる言葉や文を本文から見つけ出しながら課題解決をすることができる。 【課題解決力】

(3) 準備物

板書用掲示物（掲示用文章，挿絵，カード），ワークシート

見方・考え方の共有	7 考えを共有する。	◇そのカードを選択した理由を明らかにさせながら考えの共有ができるようにする。(「大きさ」という言葉があるから、 体の大きさ のグループに入れたよ。)	
まとめ		◆「子ねこぐらい」「やぎぐらい」が実感できるよう、実物大の絵を用意しておくなど工夫する。 ◆目や耳が閉じている様子を挿絵で確認したり動作化したりし、具体的にイメージできるようにする。	
振り返り	8 振り返りをする。	◇「おどろいたこと」「はじめてしたこと」に焦点を当てて振り返りさせる。	

(5) 板書計画



(6) 本時における個の課題に応じた手立て

● A児

<p>本時で予想されるつまずき</p> <ul style="list-style-type: none"> 「体の大きさ」「目や耳のようす」「お母さんと似ているか」の三つの観点についてどこにどのように書かれているのかが分からず、大事な言葉を書き抜くことができない。 	<p>つまずきの要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 書かれている内容についてイメージをもち、自分なりに解釈しながら読むことが難しい。 課題解決の見通しが立たない。 本文のどこに答えが書いてあるのか見通しが立たない。
<p>手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> ①毎時間、授業の始めには10分間音読を行い、「一文読み」や「グループ読み」など方法を工夫するなどして本文をスラスラ読めるようにしておく。 ②家庭学習でのクイズ作りを通して、あらかじめ課題に触れさせておき、見通しをもって授業に参加できるようにする。 ③カードを選択したり分類したりする活動を仕組み、三つの観点を意識しながら読んだり、ライオンとしましまを比較しながら読んだりできるようにする。 ④継続してビジョントレーニングを実施することで視機能の向上を図り、読む力の向上を図る。 	

(7) 予習クイズ

どろぼうの赤ちゃんクイズをつくってみよう☆

しまっまの 赤ちゃんの、生まれた ときの
大きさは？

③

②

①

生まれたとき、目が あいていて、
耳も ぴんと 立っている どろぼうは
なんでしよう？

③


ぐらい

②

ぐらい

①

ぐらい



(8) 本時ワークシート

ライオン

からだの 大きさ

ライオンの 赤ちゃんは、
生まれた ときは、
子ねごぐらいの 大きさ
です。

しまっま

からだの 大きさ

どろぼうの 赤ちゃん

目や 耳は、
とじた ままです。

目や 耳の ようす

目や 耳の ようす

おあさんに にているか
よわよわしくて、
おあさんに あまり
にて いません。

おあさんに にているか

おあさんに にているか

